



(一社)中部地質調査業協会
理事長 伊藤 重和

巻頭言

平素は、一般社団法人中部地質調査業協会の事業活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。協会員一同、心より御礼申し上げます。

さて、2019年度の景気動向は本年10月の消費増税や人手不足、原材料の価格高騰等により、不透明感が増しているものの、(一財)建設経済研究所の建設投資の見通しによれば、2019年度は2018年度対比で2.4%増の58兆円台に達するとの予測もあります。また30年続いた平成の時代が終わり新元号の新しい時代が到来したことから、変革の機運が訪れているとも捉えられます。

新たな時代という事で言えば、4月には働き方改革関連法と改正入管法が施行されました。今後大幅な人口減少と少子高齢化が急激に進行する中で、これからの日本のあり方を問う法律でもあり、これまでと同様、上部団体にあたる一般社団法人全国地質調査業協会連合会の活動と連携を取りながら着実に歩んでまいりたいと思います。その中でも、生産性の向上に資する建設ICT(情報通信技術)や昨年立ち上がった国土地盤情報センターの活用等はもちろんのこと、建設生産・管理システムの上流に位置する地質調査業が施工段階や維持管理段階までの行程に潜むリスクを軽減し、品質確保に重要な役割を果たしていかなければならないと考えております。

また、昨年も西日本豪雨や北海道胆振東部地震に象徴されるように、もはや想定外とはいえないような毎年の災害への備えとして、引き続き防災・減災を念頭においた活動も重要であります。西日本豪雨においては当協会のエリアである岐阜県内で土砂崩れ等の災害が多数発生

し、地盤工学会中部支部と合同調査団を組織し、現地踏査にあたりました。これまでも平成23年の台風12号時に現地踏査や報告会等、活動をともにしたこともあり、学会と協会がより一層スムーズに連携して活動していくために、この3月には「災害時における調査の相互協力に関する協定」を結びました。一方、本機関誌「土と岩」は67号を数え、特集タイトル「地質の最新技術～これからの地質調査～」を含め、その多岐にわたる内容は、協会内外の皆様にお目通しいただき、啓蒙活動の一助となれば本望であります。

昨年度、中部地区においては霞4号幹線や新名神高速道路新四日市-亀山西ジャンクション間の開通、東海環状自動車道西回りや三遠南信自動車道の延伸等、より元氣な中部へと発展できるポテンシャルが高まっております。しかしながら、脆弱で複雑な地質からなる日本の国土において、大規模な国土強靱化対策が事業化され、当協会といたしましても元氣な中部の土台を支えるべく、引き続き努力と研鑽を積み重ねる所存であります。

結びに、皆様が安全・安心に暮らせる国土形成のために、専門家集団として重要な役割を担い、これまで培ってきた技術を次の世代に承継してまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

01 ▶	巻頭言	1
02 ▶	特集 地質の最新技術 ～これからの地質調査～	3
	1) 干渉SARを利用した地盤変状のモニタリング	4
	□基礎地盤コンサルタンツ(株) 技術本部 物理探査部 吉川 猛 □東京大学 大学院 工学系研究科 古関 潤一	
	2) CIMを当たり前ものにするために	12
	□名古屋工業大学 大学院 工学研究科 秀島 栄三	
	3) 宇宙線ミュオン粒子による空洞探査	18
	□川崎地質株式会社 戦略企画本部 技術企画部 鈴木 敬一・草茅 太郎	
03 ▶	業界トピック	28
	1) 地質リスクマネジメントの現状と今後の動向	
	□全国地質調査業協会連合会 技術委員長 岩崎 公俊(基礎地盤コンサルタンツ(株) 代表取締役社長)	
	2) 国土地盤情報センターの設立と今後の取組み	
	□国土地盤情報センター 理事長 岩崎 公俊(基礎地盤コンサルタンツ(株) 代表取締役社長)	
04 ▶	特別寄稿 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター	40
	□豊橋技術科学大学 特任助教 穂苅 耕介	
05 ▶	平成30年度 中部地区における地質調査業に関する意見交換会	51
06 ▶	散文 身近な地質スポット【前編】	60
	□編集委員会・ホームページWG 一同	
07 ▶	中部ミニフォーラム2018優秀論文	73
	1) レベル2地震動における海岸堤防の耐震検討事例	
	□株式会社ダイヤコンサルタント ○蔵座 拓磨・北郷 鉄也・本田 伸太郎	
	2) サンプリングチューブ内の試験位置による一軸圧縮試験結果に関する一考察	
	□中部土質試験協同組合 ○松村 竜樹・坪田 邦治	
08 ▶	協会活動報告	78
	1) 「平成30年7月豪雨災害に伴う岐阜県内合同調査」参加報告	
	□中部地質調査業協会 技術委員会	
	2) 女性技術者ワーキング活動報告	
	□研修委員会 女性活躍推進WG	
09 ▶	常設委員会報告	84
	・ 総務委員会	
	・ 研修委員会	
	・ 広報委員会	
	・ 技術委員会	
	・ 防災委員会	
	・ 編集委員会	
	・ ホームページワーキング活動報告	
10 ▶	読者アンケート結果・読者アンケート	92
11 ▶	会員名簿	94
12 ▶	会員広告	96
13 ▶	編集後記	105